

解説 災害ごとの対応

C 地震

じしん



気象庁では、地震発生直後に「緊急地震速報」を発表しています。速報が出てから大きな揺れが到達するまでは、数秒～数十秒とわずかな時間しかありません。普段から万が一の行動を想像しておきましょう。

地震発生時の行動

- 自宅
 - ・頭を保護し、テーブルなどの下で自分の身を守る
 - ・火の始末をする
 - ・ドアや窓を開けて逃げ道を確認
- 商業施設など
 - ・施設の誘導係員の指示に従う
 - ・頭を保護し、揺れに備えて身構える
 - ・慌てて出口・階段などに殺到しない
- 自動車の運転中
 - ・急停車せず、ハザードランプを点灯させながら徐行して停車
 - ・揺れが収まるまで車内で待ち、鍵を付けたまま車外へ出て避難

津波で気を付けること

津波から自分の身を守るため、以下の行動をしっかり把握したうえで、直ちに避難してください。

津波発生時の行動

- 警報を待たずに避難してください
震源が陸地に近いと津波警報が津波の襲来間に間に合わないことがあります。
- 津波見物には絶対行かないください
津波のエネルギーは想像以上です。わずか10cmの波でも足をとられます。スマトラ島沖地震の際には、津波を見物して被害に遭った人もいました。決して、海岸や河口に近づいてはいけません。
- より高い場所を目指してください
沿岸の地形などの影響で、津波は局部的に高くなる場合があります。
- 津波警報や注意報が解除されるまでは避難をしてください
津波は長い時間繰り返し襲ってきます。警報や注意報解除まで避難を続けてください。

あなたの防災対策はどのレベル？

危険

0~5

危機感を持って
大至急備えるべし！

いつ起こるか分からない災害に対する危機感が不足しています。避難場所や避難経路の把握など、最低限の備えから速やかに進めてください。

要注意

6~10

備えへの意識を改め
基本から再チェックを！

災害に対する備えが十分ではありません。これを機に意識を改め、家族や地域で話し合うなどして、十分な対策をお願いします。

油断大敵

11~15

油断大敵！
足りない備えを万全に

一定の理解や備えができていますが、油断は禁物です。不足している項目をチェックし、備えを万全にできるようにしてください。

備えあり

16~20

さらに備えながら
周囲にも声掛けを

災害に対する十分な備えができています。自分や家族だけでなく、友人や地域の人に対しても、備えが浸透するよう啓発をお願いします。

重要な備えについて 解説 を読んで理解を深めましょう！

D 水害

すいがい



水害をもたらす大雨の前兆が見られたら、川からすぐに離れ、安全な場所に避難してください。山側から雨雲が近づく場合は、河川の増水がより早くなり、特に注意が必要です。テレビやラジオなどで発表される情報にも注意し、警戒をお願いします。

局地的大雨の前兆(例)

- 真っ黒い雲が広がり、周囲が急に暗くなる
- 大粒の雨や「ひょう」が降り出す
- 雷鳴が聞こえたり、雷光が見えたりする
- 急に冷たい風が吹き出す

土砂災害で気を付けること

土砂災害は大きく「崖崩れ・山崩れ」、「地滑り」、「土石流」の3種類があります。前兆に気付いたら速やかに安全な場所に避難してください。大雨の時は、テレビやラジオの「土砂災害警戒情報」にも注意をお願いします。



土砂災害の前兆(例)

- 崖崩れ
崖にひび割れができ、小石が落ちてくる
- 地滑り
地面にひび割れができ、斜面から水が吹き出す
- 土石流
山鳴りがし、急に川が濁り流木が混ざっている

雨の強さと想定される被害

10~20ミリ
やや強い雨
長く続く場合は注意が必要

20~30ミリ
強い雨
側溝や下水などがあふれ、小規模の崖崩れが始まる

30~50ミリ
激しい雨
山崩れや崖崩れの危険性が高まり、避難の準備が必要

50~80ミリ
非常に激しい雨
マンホールから水が噴出し、土石流が起こりやすくなる

80ミリ~
猛烈な雨
大規模な災害の発生する恐れが強く、厳重な警戒が必要

解説 日ごろからの備え

B 災害に備えた備蓄品

災害が発生すると、電気や水道などのライフラインが機能しなくなる場合があります。いざという時に備え、ライフラインが止まっても生活できるよう、次のような備蓄品を最低でも3日分は用意しておきましょう。



備蓄品(例)

- 飲料水(一人1日3L×3日分)
- ごはん(アルファ米など一人5食分)
- 一人最低3日分の食料(ビスケット、板チョコ、乾パンなど)
- 下着、衣類、トイレトーパー、マッチ、ろうそく、カセットこんろなど

避難の際は、3日分の飲料水と食料、服用中の薬、携帯電話などを持っていきましょう。

A ハザードマップって？

市では、大規模な津波や洪水が発生した時に、市民の皆さんがスムーズに避難し、被害を最小限にとどめるために、「津波」と「洪水」の2種類のハザードマップを作成しています。日ごろの備えに役立ててください。

掲載している内容

- 津波ハザードマップ
想定される津波の浸水範囲や深さ、指定避難所、避難の心得など
- 洪水ハザードマップ
想定される洪水の浸水範囲や深さ、雨の降り方の目安など

